

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 4 0	はかりを使うときは、正しくはかるために、使う前に針が目盛りの0を指すように調節 <small>ちようせつ</small> します。
問2	答え 2 はかりやてんびん	ものの重さをはかるためには、はかりやてんびんという道具を使います。
問3	答え 4 ものの種類 <small>しゆるい</small> と体積 <small>たいせき</small> が同じなので、形 <small>ちが</small> が違っても重さは同じである。	ものの種類 <small>しゆるい</small> と体積 <small>たいせき</small> が同じであれば、形 <small>ちが</small> がどのように違っても重さは同じになります。
問4	答え 2 重い方に傾く	てんびんは、左右にのせたものの重さが違うとき、重い方に傾く仕組みになっています。
問5	答え 1 かわらない	ものの形をどのように変えても、重さは変わりません。
問6	答え 3 どちらの姿勢 <small>しせい</small> でも同じ重さをさす	同じ人がちがう姿勢 <small>しせい</small> をとっても、体全体の重さは変わらないため、体重計のめもりは同じ重さをさします。
問7	答え 3 どちらも重さは同じである	ものの積み方を変えても、使っているブロックの数が同じであれば、全体の重さは変わりません。
問8	答え 2 水平になって止まる	てんびんは、左右にのせたものの重さが同じとき、どちらにもかたむかずに水平になって止まります。
問9	答え 2 平らな場所	はかりを使って正しく重さをはかるためには、ななめやでこぼこした場所ではなく、平らな場所に置く <small>お</small> 必要があります。
問10	答え 1 正面から	はかりの目もりをななめやよこから見ると、正しい重さが読み取れなくなるため、必ず正面 <small>かなら</small> から見ます。
問11	答え 2 2つのものの重さを直接 <small>ちよくせつくら</small> 比べること	てんびんを使うと、2つのものの重さを直接 <small>ちよくせつくら</small> 比べることができます。
問12	答え 4 かわらない	同じ人がどのようなポーズ <small>しせい</small> （姿勢）で体重計に乗っても、体重は変わりません。
問13	答え 3 木と鉄は種類 <small>しゆるい</small> がちがうので、同じ大きさでも重さはちがう。	同じ体積 <small>たいせき</small> であっても、木と鉄のようにできているものの種類 <small>しゆるい</small> がちがう場合は、重さが異なる <small>こと</small> ります。